
**レスプリシリーズ
レスプリ V/V-ex シリーズ
フォント・ロゴ作成ツール説明書**

目次

1. フォント・ロゴ作成ツールとは	1
2. フォント作成手順	4
3. ロゴ作成手順	10
4. フォント・ロゴメンテナンス機能	14
5. インタフェース設定	16
5. 1. USB インタフェースの設定	16
5. 2. LAN インタフェースの設定	17
5. 3. RS-232C インタフェースの設定	18
5. 4. IEEE1284 インタフェースの設定	19

フォント・ロゴ作成ツール

1. フォント・ロゴ作成ツールとは

お客様が、お使いになるパソコンで使用されている、TrueType フォントのデータをビットマップ フォントデータに変換する機能と BMP ファイルをプリンタで使用できるロゴデータに変換してプリンタ登録用のロゴデータを作成するツールです。

作成されたデータは、ダウンロード機能を使用してプリンタ本体に登録し、プリンタ内蔵フォントとして使用します。

効果

グラフィックで印字されていた文字データ・ロゴデータをプリンタに登録することで、通信データ量の削減ができ、処理速度向上につながります。

フォントを作成しプリンタへダウンロードするまでの手順

①フォント・ロゴ作成ツールを起動します。

CD-ROM のフォント・ロゴ作成ツールを起動

②TrueType フォントを選択します。

TT フォントを選択

③プリンタに登録するフォント名を入力します。

登録名を入力

④フォントサイズ、縦書き指定、斜体などの属性 情報を入力します。

フォントサイズを入力

強調指定

縦書きフォント指定

斜体指定

⑤変換を行う文字コードを入力します。

コード範囲の初期値は、32～255 までのキャラクタコードになります。

開始コードを入力

終了コードを入力

漢字の場合は、

漢字の場合は、テキストファイル入力又は、直接データ入力（登録文字入力）により、作成する漢字データを任意に指定することができます。

⑥プリンタを選択します。

プリンタにより基本ドットが違います。
ヘッド密度 203dpi → 0.125mm/1dot
ヘッド密度 305dpi → 0.083mm/1dot

プリンタを選択

保存

ダウンロード

終了

ファイルに保存します。

作成したデータをプリンタに登録します。

フォント・ロゴ作成ツール

登録文字数

プリンタには、832 キロバイト (851,968 バイト) のデータ登録エリアがあります。
データ登録エリアには、フォントデータ、ロゴデータが登録できます。
プリンタに登録されているデータの確認は、
「その他 (O)」メニューにある「フォント・ロゴメンテナンス (M)」で情報取得することができます。

フォントデータ計算方法

305dpi 0.083mm/dot 指定で、ゴシック 10ポイント1文字分の総データサイズは、262バイトになります。

10文字登録する場合は、 $262 \text{ バイト} \times 10 \text{ 文字} = 2620 \text{ バイト}$ の登録エリアが必要になります。

計算

1インチの72分の1が、1ポイント (0.3514mm) です。

10ポイントの指定による、印字文字サイズの一辺は、 $10 \text{ (ポイント)} \times 0.3514 \text{ (mm)} = 3.514 \text{ mm}$ になります。

305dpi (12本/mm) 対応に演算します。

$3.514 \text{ mm} \div 0.083 \text{ mm} = 42.3$ となり少数点以下を切り捨て 42ドット になります。

印字する文字の一辺の長さは、42ドットになり、ポイントに換算すると 9.92ポイントになります。

1文字分の総データサイズは、

横 $42 \text{ ドット} \div 8 = 5.25 \Rightarrow$ 横 6バイト

縦 42ドット

総バイト数 $6 \times 42 = 252$ バイトになり、管理情報 10バイトを加算した結果、

262バイトが一文字の総データ数になります。

フォント・ロゴ作成ツール

ロゴを作成しプリンタへダウンロードするまでの手順

①フォント・ロゴ作成ツールを起動します。

CD-ROM のフォント・ロゴ作成ツールを起動

②BMP ファイルを選択します。

読込を選択します

③プリンタに登録するロゴ名称を入力します。

ロゴ名称を入力します

保存

ダウンロード

終了

ファイルに保存します。

作成したロゴデータをプリンタに登録します。

作成済みロゴファイルをプリンタへダウンロードするには、

ロゴファイルとして、既に作成されているデータファイル（拡張子 DLF）を、プリンタへダウンロードするには、「読込」を選択し、「ダウンロード」を選択してください。

登録できるロゴ数

プリンタには、832 キロバイト（851,968 バイト）のデータ登録エリアがあります。
データ登録エリアには、フォントデータ、ロゴデータが登録できます。

プリンタ登録されているデータの確認は、「その他 (O)」メニューにある「フォント・ロゴメンテナンス (M)」で情報取得することができます。

2. フォント作成手順

- ① 図 2-1 メインメニュー画面の「レスプリ プリンタ」を選択後、「次へ」をクリックしてください。

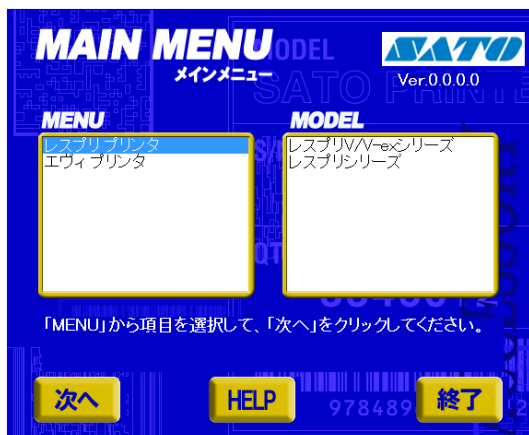


図 2-1 メインメニュー画面

※Version の表示が 0.0.0.0 となっておりますが実際に表示した際は対応した Version が表示されます。

- ② 図 2-2 レスプリプリンタ画面の「ユーティリティ」をクリックしてください。



図 2-2 レスプリプリンタ画面

- ③ 図 2-3 ユーティリティ画面の「フォント・ロゴ作成ツール」を選択後、「起動」をクリックしてください。



図 2-3 ユーティリティ画面

フォント・ロゴ作成ツール

- ④ 図 2-4 フォント・ロゴ作成ツール起動画面が表示されます。

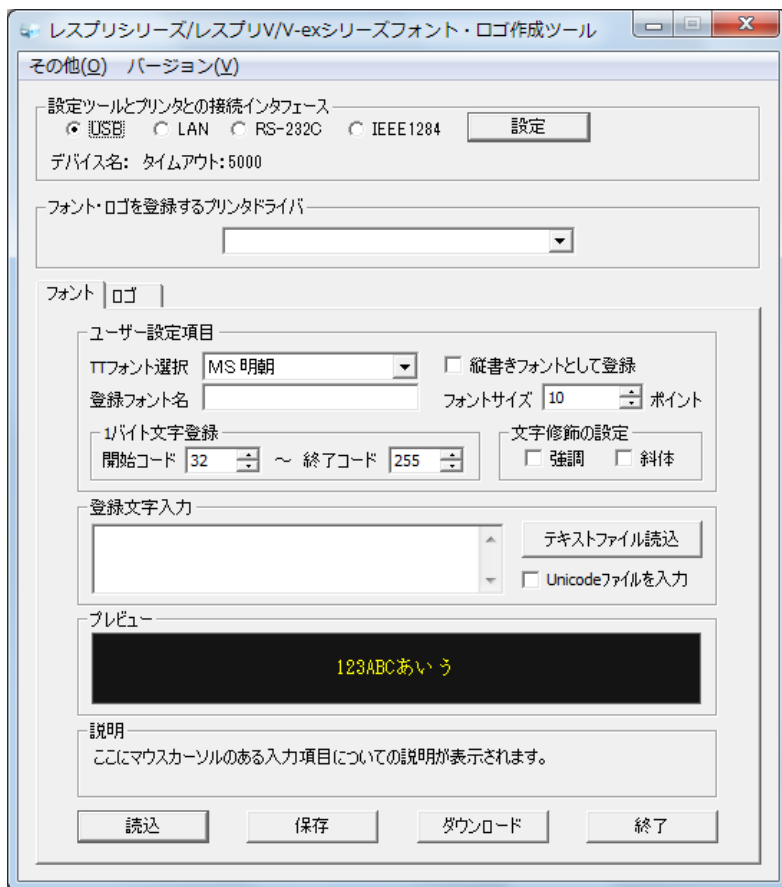


図 2-4 フォント・ロゴ作成ツール起動画面

- ⑤ 図 2-5 TT フォント選択画面「ユーザー設定項目」の「TT フォント選択」よりフォントを選択してください。
選択されたフォントデータをプレビューで確認することができます。

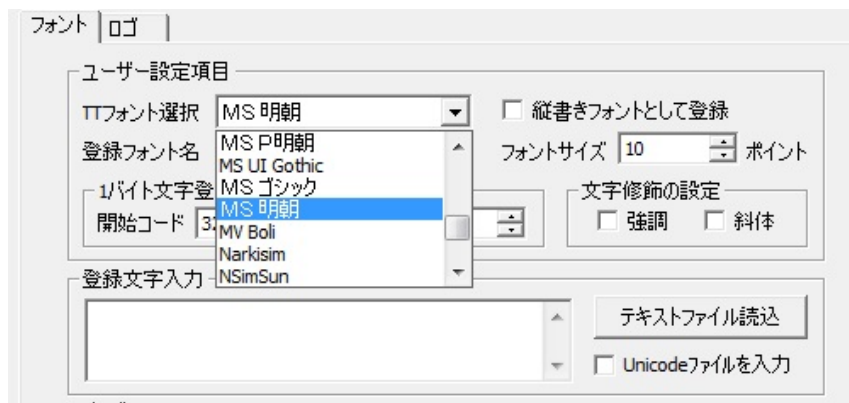


図 2-5 TT フォント選択画面

フォント・ロゴ作成ツール

⑫ 「TT フォント選択」で漢字書体データを選択すると「登録文字入力」が有効となります。

⑫-A. 漢字データを入力指定することができます。



図 2-12-A 漢字データ入力画面

⑫-B-1. 「テキストファイル入力」をクリックすることで、テキストファイルを指定することができます。

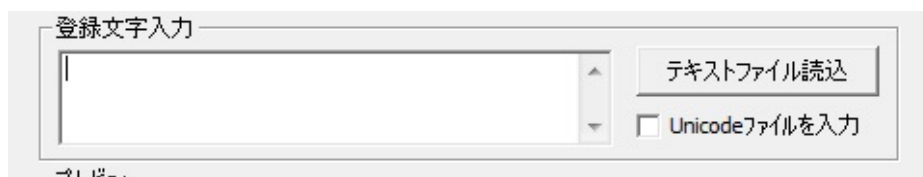


図 2-12-B-1 テキストファイル入力画面

⑫-B-2. テキストファイルを指定します。

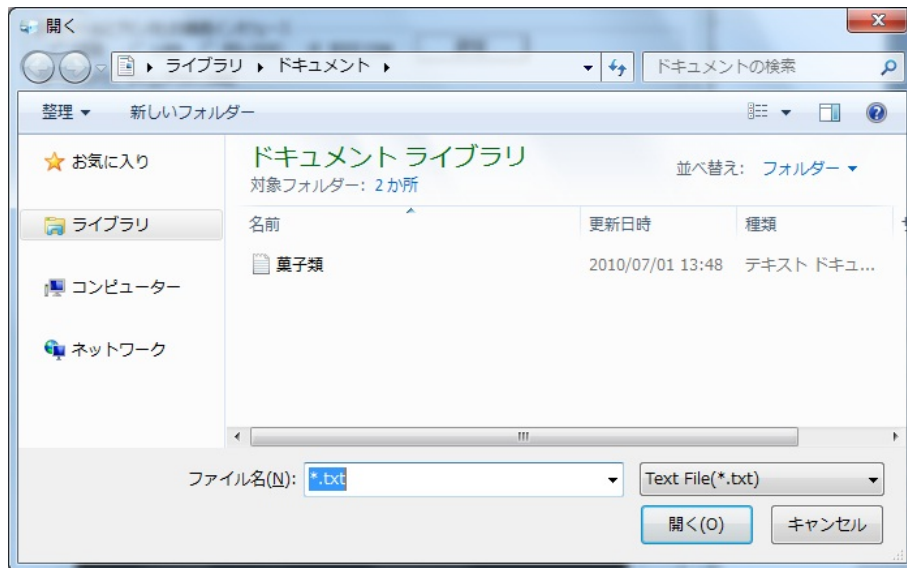


図 2-12-B-2 テキストファイル選択画面

フォント・ロゴ作成ツール

⑫-B-3. テキストファイルのデータを表示します。

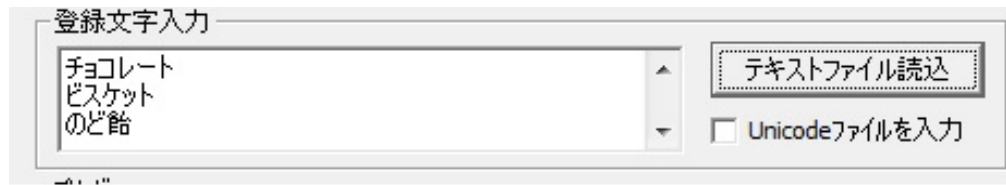


図 2-12-B-3 テキストファイルデータ表示画面

※1 バイトコード範囲のデータと登録文字入力に表示されたデータが変換対象データになります。
※⑤～⑫の設定条件をもとに選択された TT フォントをプリンタ用ビットマップフォントデータに変換します。

⑬ 「保存」をクリックするとファイル名を指定してファイルに保存します。

ファイル拡張子は、XXX～XX.dff になります。

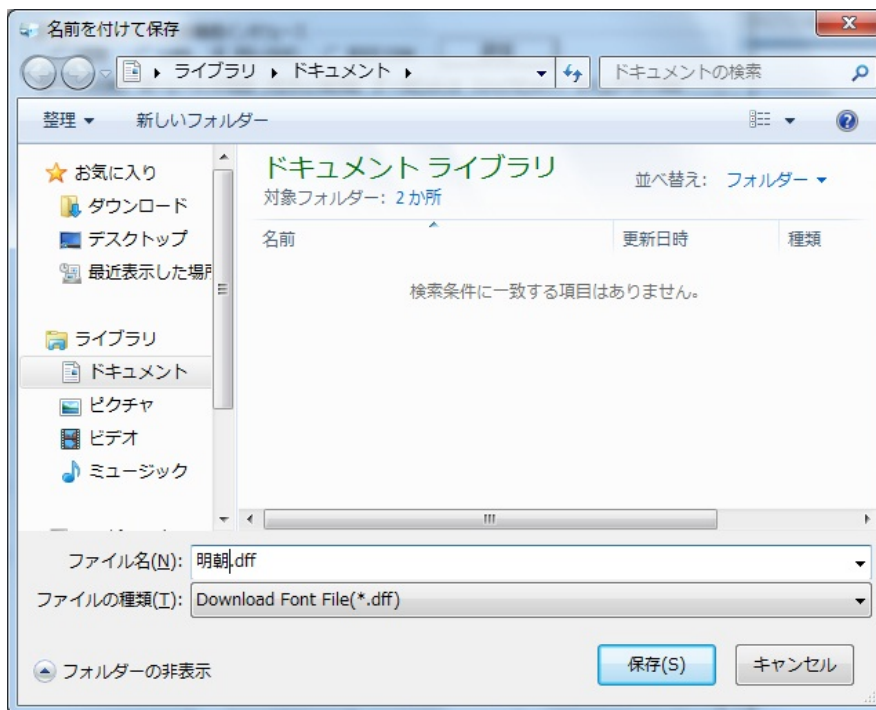


図 2-13 フォントデータ保存画面

フォント・ロゴ作成ツール

- ⑭ 「読込」をクリックすると保存したファイル指定し、読込むことができます。

ファイルの拡張子は、 XXX~XX.dff になります。

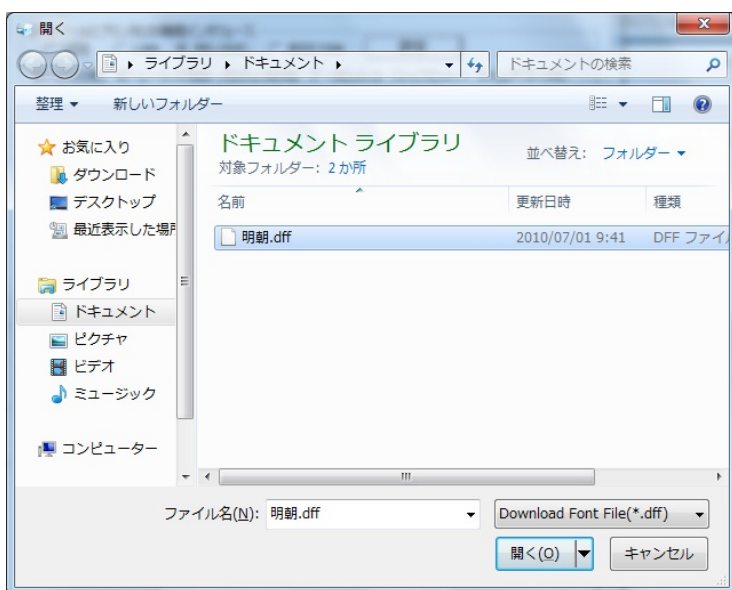


図 2-14 フォントデータ読込み画面

- ⑮ 「ダウンロード」をクリックすると図 2-15 の画面が表示されます。

図 2-15 のメッセージに従い、プリンタのディップスイッチを設定してください。ディップスイッチの設定変更をする場合は、プリンタ本体の電源を OFF にした後、設定してください。

設定後、再度電源を ON にするとプリンタはダウンロードモードで起動します。

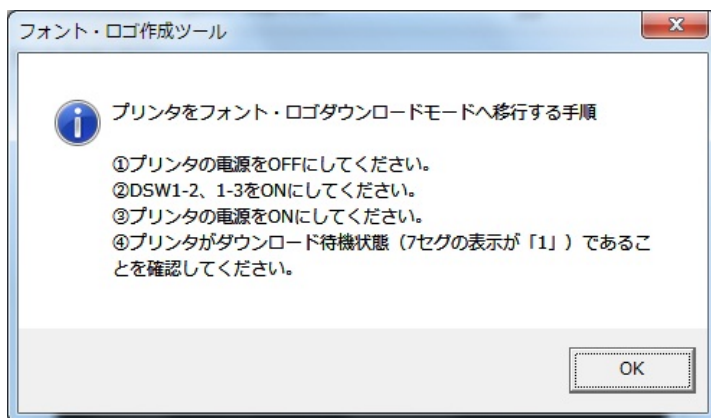


図 2-15 ディップスイッチ確認メッセージ画面

フォントデータ／ロゴデータのダウンロードモードの設定は、
：ディップスイッチ 1-OFF、2-ON、3-ON

- ⑯ ダウンロード終了後、図 2-4 の画面に戻ります。

フォント・ロゴ作成ツール

3. ロゴ作成手順

① 図 3-1 メインメニュー画面の「レスプリ プリンタ」を選択後、「次へ」をクリックしてください。

②

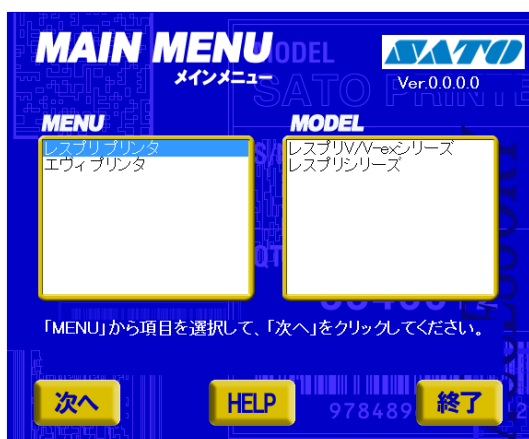


図 3-1 メインメニュー画面

※Versionの表示が0.0.0.0となっておりますが実際に表示した際は対応したVersionが表示されます。

② 図 3-2 レスプリプリンタ画面の「ユーティリティ」をクリックしてください。



図 3-2 レスプリプリンタ画面

③ 図 3-3 ユーティリティ画面の「フォント・ロゴ作成ツール」を選択後、「起動」をクリックしてください。



図 3-3 ユーティリティ画面

フォント・ロゴ作成ツール

- ④ 図 3-4 フォント・ロゴ作成ツール起動画面が表示されます。

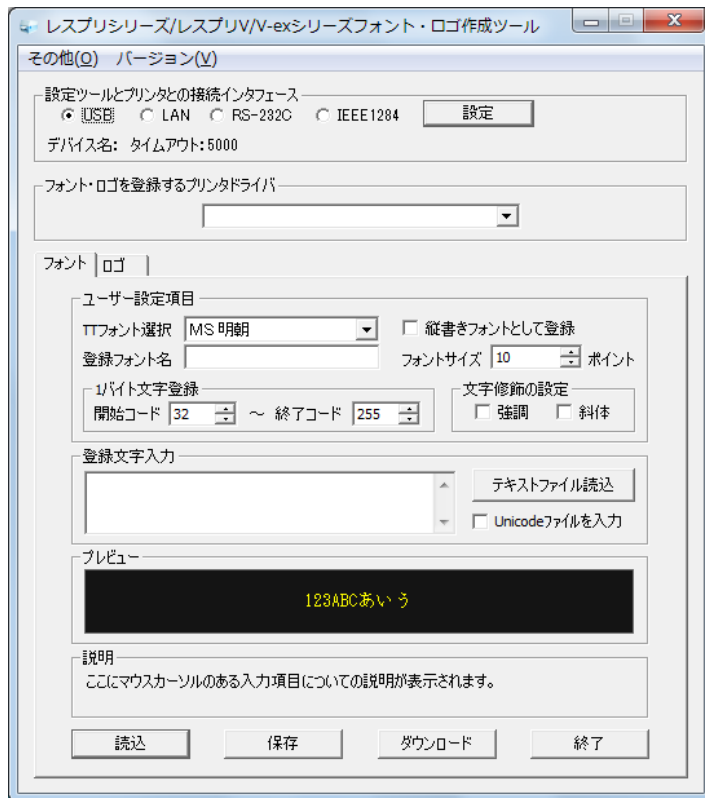


図 3-4 フォント・ロゴ作成ツール起動画面

- ⑤ タブをロゴに切り替えると、ロゴ作成ツール画面が表示されます。

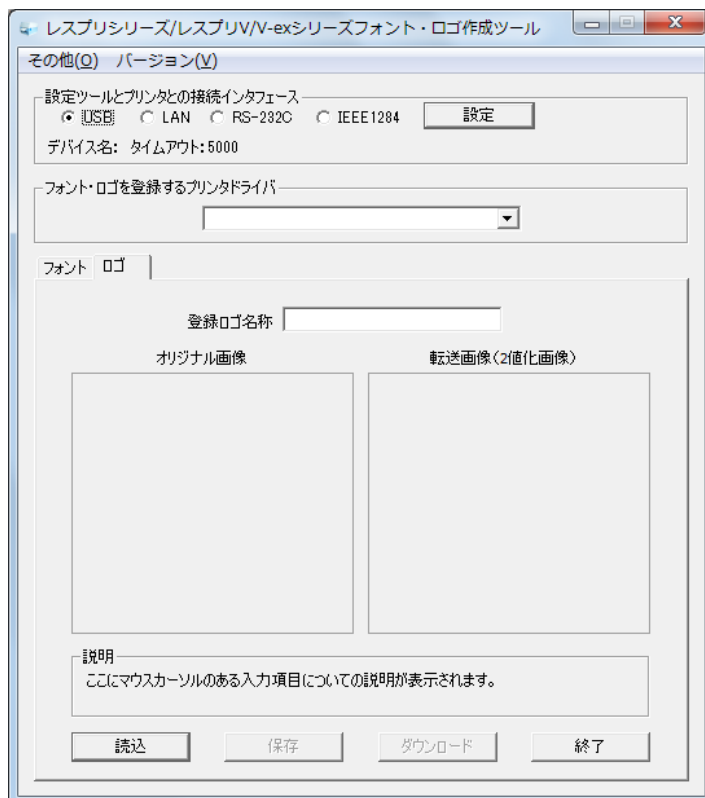


図 3-5 ロゴ作成ツール画面

フォント・ロゴ作成ツール

- ⑥ 登録するロゴ名称を入力してください。

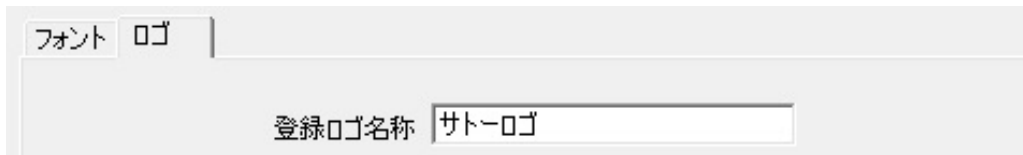


図 3-6 ロゴ名称登録画面

- ⑦ 「読込」をクリックし BMP ファイルを選択します。

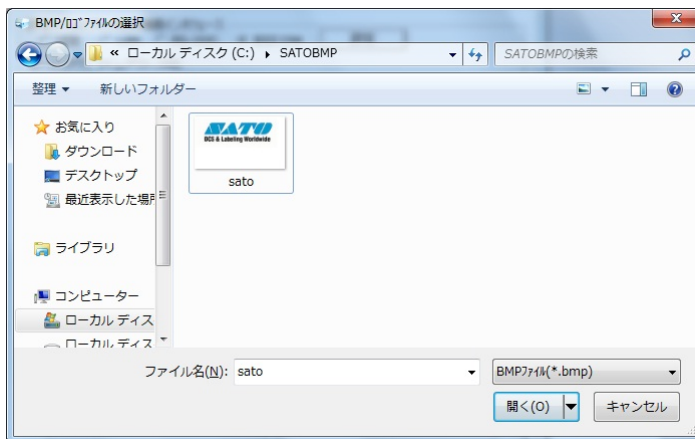


図 3-7-1 画像ファイル指定画面



図 3-7-2 画像ファイル読み込み後画面

フォント・ロゴ作成ツール

⑧ 「保存」をクリックするとファイル名を指定してファイルに保存します。

ファイル拡張子は、 xxx~xx.dlf になります。

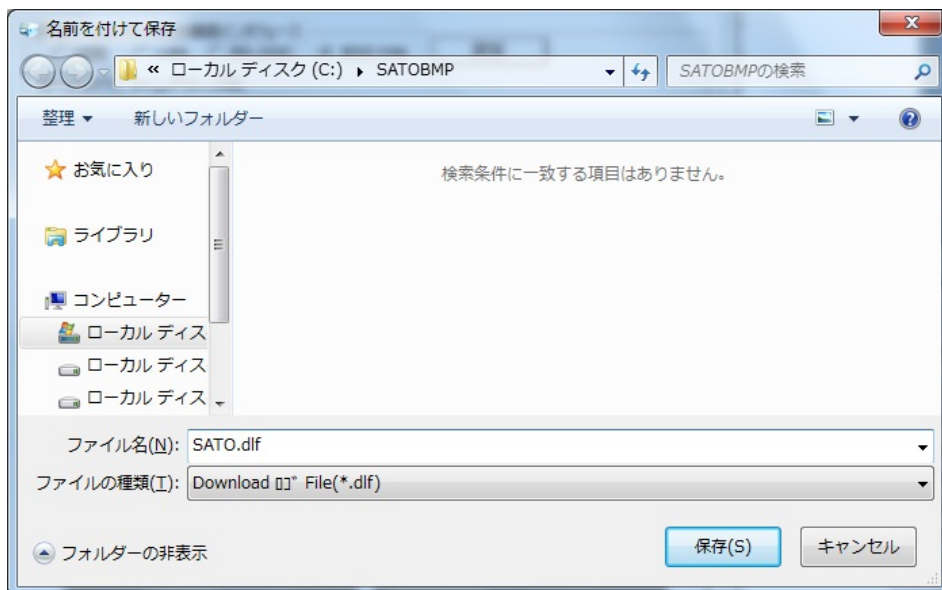


図 3-8 画像データ保存画面

⑨ 「フォント・ロゴを登録するプリンタドライバ」を選択し、「ダウンロード」をクリックすると図 3-9 の画面が表示されます。

図 3-9 のメッセージに従い、プリンタのディップスイッチを設定してください。
ディップスイッチの設定を変更する場合は、プリンタ本体の電源を OFF にして設定してください。
設定後、再度電源を ON にするとプリンタは、ダウンロードモードで起動します。

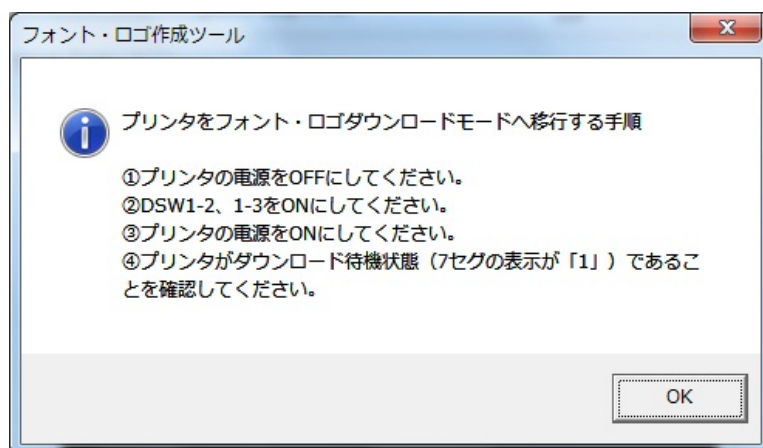


図 3-9 ディップスイッチ確認メッセージ画面

フォントデータ／ロゴデータのダウンロードモードの設定は、
: ディップスイッチ 1-OFF、2-ON、3-ON

⑩ ダウンロード終了後、図 3-5 の画面に戻ります。

4. フォント・ロゴメンテナンス機能

メンテナンス機能で既にプリンタに登録されているフォントデータ／ロゴデータ情報を確認することができます。又、登録データの削除も可能です。

- ① 「その他 (O)」の「フォント・ロゴメンテナンス (M)」を選択してください。

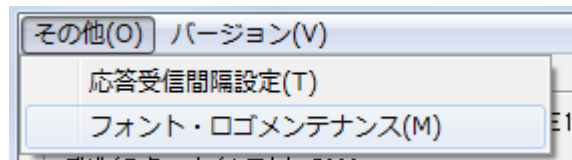


図 4-1 メンテナンス選択画面

- ② 図 4-2 メンテナンス画面を表示します。「情報取得」をクリックしてください。図 4-3 メンテナンス画面を表示します。

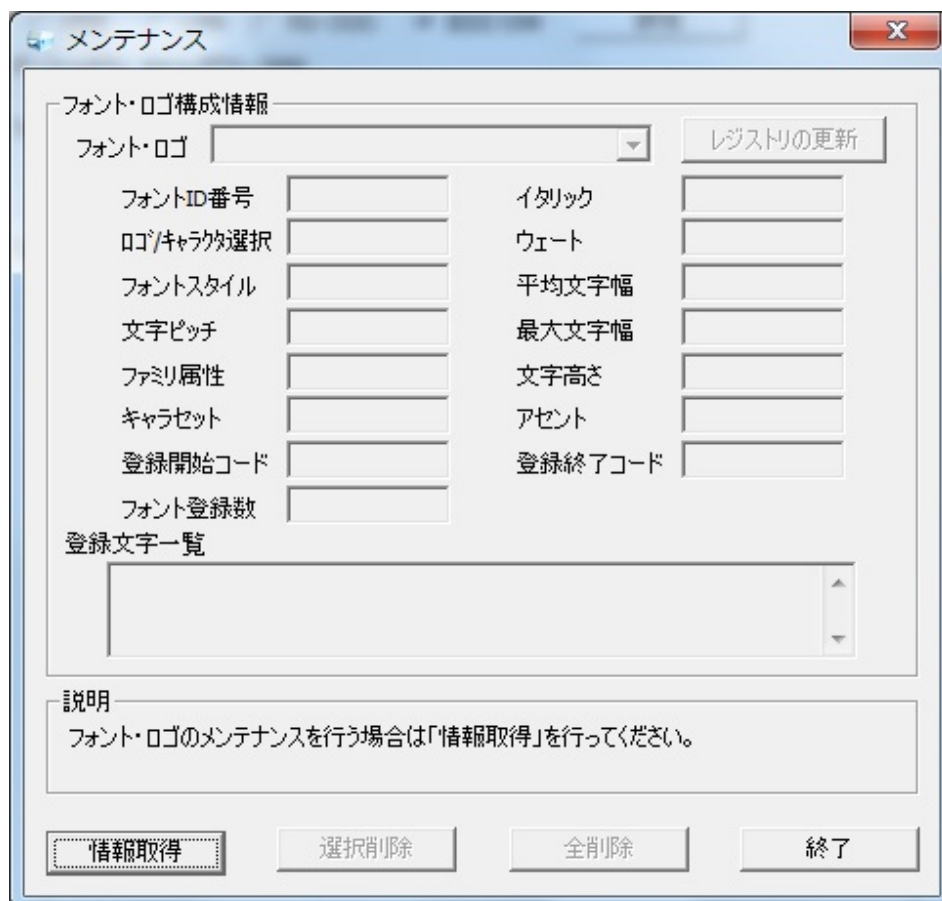


図 4-2 メンテナンス画面

- ③ プリンタからダウンロード情報を取得し表示します。

フォント・ロゴ作成ツール

- ・「フォント・ロゴ」のコンボボックスで設定を切り替えることができます。
- ・「フォント・ロゴ構成情報」の「ロゴ/キャラクタ選択」項目で、フォント情報の場合は「キャラクタ」、ロゴ情報の場合は「ロゴ」と表示されます。

(1) 「選択削除」

現在表示している内容のフォントデータ、又はロゴデータを削除します。

(2) 「全削除」

ダウンロードされている全てのフォントデータ及び、ロゴデータを全て削除します。

(3) 「レジストリの更新」

プリンタから取得したフォント、ロゴ情報を使ってプリンタドライバのレジストリ情報を更新します。

プリンタドライバ側で認識しているフォント/ロゴ情報を統一します。

別のPCで作成されたフォントロゴ情報を一旦、取得してレジストリ情報を更新します。

注) ダウンロード、削除を行ったパソコンと違うパソコンで、印字を行う場合は、必ず「レジストリの更新」行ってください。

※ダウンロードフォント情報の取得に失敗した場合、エラーメッセージが表示されます。

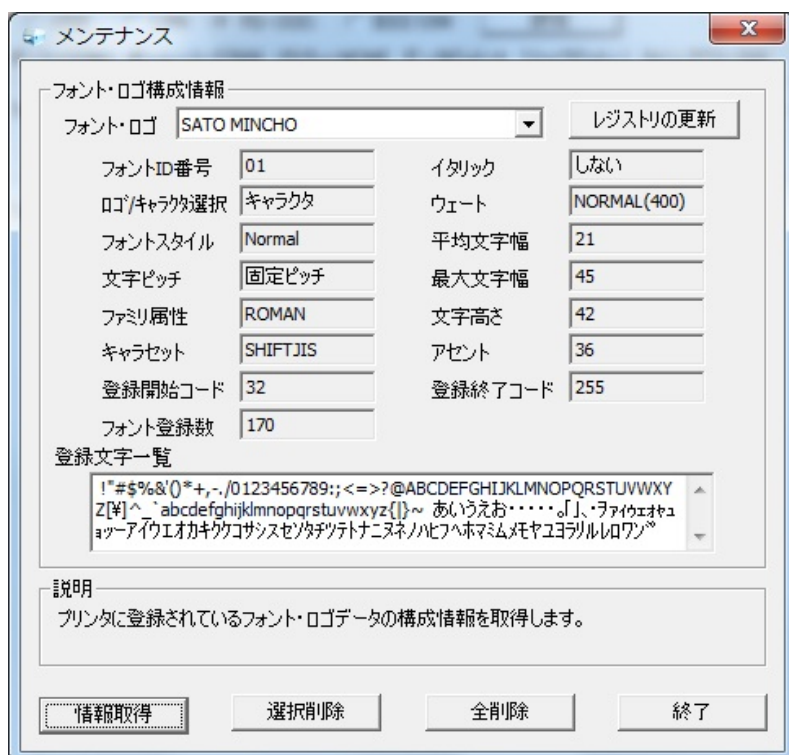


図 4-3 メンテナンス画面

フォント・ロゴ作成ツール

5. インタフェース設定

5.1. USB インタフェースの設定

USB インタフェースでフォント・ロゴ作成ツールを使用する場合に設定します。

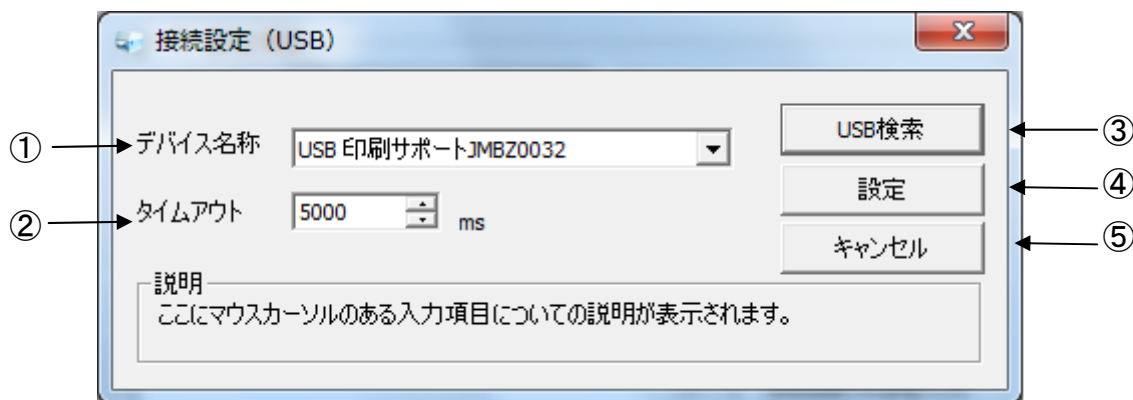


図 5-1 USB インタフェース設定

【補足説明】

項番	項目	内容	初期値	範囲
①	デバイス名称	「USB 検索」をクリックした際に接続されているプリンタのデバイス名称とプリンタのシリアル番号を表示します。	空白	—
②	タイムアウト	USB の通信を行った際のタイムアウト値を設定します。	5000ms	0~5000ms
③	USB 検索	接続されているプリンタの USB デバイス名称を取得し、「デバイス名称」に表示します。	—	—
④	設定	「デバイス名称」で選択されているデバイスのプリンタを設定し画面を閉じます。	—	—
⑤	キャンセル	デバイスを設定しないで画面を閉じます。	—	—

フォント・ロゴ作成ツール

5.2. LAN インタフェースの設定

LAN インタフェースでフォント・ロゴ作成ツールを使用する場合に設定します。

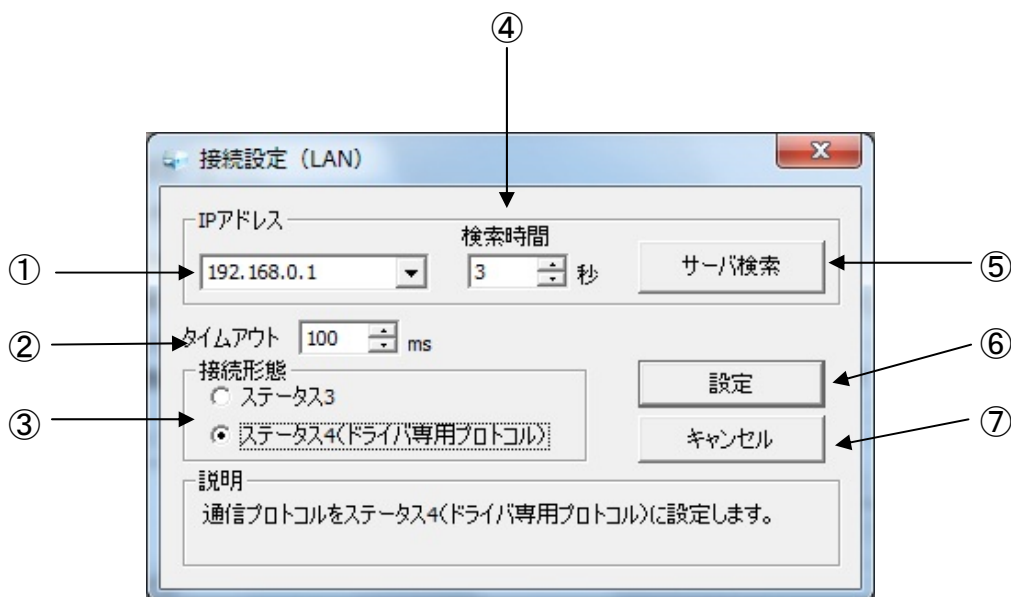


図 5-2 LAN インタフェース設定

【補足説明】

項番	項目	内容	初期値	範囲
①	IP アドレス	直接 IP アドレスを入力するか、「サーバ検索」をクリックし検索して見つかった IP アドレスを表示します。	192.168.0.1	全オクテット：0~255
②	タイムアウト	LAN の通信を行った際のタイムアウト値を設定します。	100ms	0~5000ms
③	接続形態	LAN の通信をステータス 3 かステータス 4 (ドライバ専用プロトコル) で行うか選択します。初期値ステータス 4 (ドライバ専用プロトコル)	ステータス 4	ステータス 3、ステータス 4
④	検索時間	「サーバ検索」を行う際の検索時間を設定します。	3 秒	0~30 秒
⑤	サーバ検索	ネットワーク上に接続されているプリンタの IP アドレスを取得し「IP アドレス」に表示します。	—	—
⑥	設定	IP アドレス、接続形態を設定し、画面を閉じます。	—	—
⑦	キャンセル	IP アドレス、接続形態を設定しないで画面を閉じます。	—	—

フォント・ロゴ作成ツール

5. 3. RS-232C インタフェースの設定

RS-232C インタフェースでフォント・ロゴ作成ツールを使用する場合に設定します。

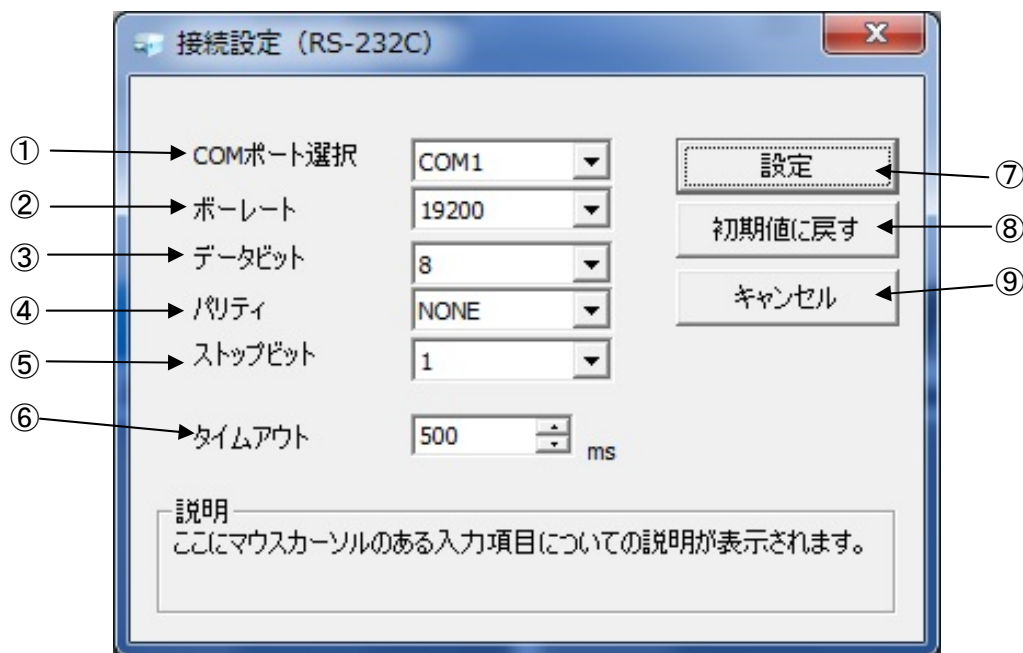


図 5-3 RS-232C 設定

【補足説明】

項番	項目	内容	初期値	範囲
①	COM ポート選択	プリンタと通信を行うポートを選択します。	COM1	COM1～COM20
②	ボーレート	プリンタと通信を行うボーレート値を選択します。	19200	9600～57600
③	データビット	プリンタと通信を行うデータビット値を選択します。	8	8、7
④	パリティ	プリンタと通信を行うパリティを選択します。	NONE	NONE、ODD、EVEN
⑤	ストップビット	プリンタと通信を行うストップビット値を選択します。	1	1～2
⑥	タイムアウト	RS-232C の通信を行った際のタイムアウト値を設定します。	500ms	0～5000ms
⑦	設定	RS-232C の接続設定を設定し、画面を閉じます。	—	—
⑧	初期値に戻す	画面上の設定を初期値に戻します。	—	—
⑨	キャンセル	RS-232C の接続設定を設定しないで画面を閉じます。	—	—

フォント・ロゴ作成ツール

5. 4. IEEE1284 インタフェースの設定

IEEE1284 インタフェースでフォント・ロゴ作成ツールを使用する場合に設定します。



図 5-4 IEEE1284 設定

【 補足説明 】

項番	項目	内容	初期値	範囲
①	LPT ポート選択	プリンタと通信を行うポートを選択します。	LPT1	LPT1～LPT3
②	タイムアウト	IEEE1284 の通信を行った際のタイムアウト値を設定します。	2000ms	2000～5000ms
③	設定	IEEE1284 の接続設定を設定し、画面を閉じます。	—	—
④	初期値に戻す	画面上の設定を初期値に戻します。	—	—
⑤	キャンセル	IEEE1284 の接続設定を設定しないで画面を閉じます。	—	—